



# 令和五年新春懇親会開催

## バイオリンエンターティナー マグナム小林氏を迎えて

2月4日(土)、11時から銀座ライオン・クラシックホールにて、参加者58名で開催されました。今回は大学関係者や近隣稲門会からの招待客はお迎えせず、世田谷稲門会の会員だけの開催となりました。司会進行は花澤隆幹事が務めました。

冒頭、旭正勝会長からコロナ禍が継続している中で世田谷稲門会活動についてお話がありました。

早速今回の公演が始まりました。演者は日6早稲田大学社会科学部卒業のバイオリンエンターティナー「マグナム小林」さんです。大学時代は「寄席芸研究会(寄席研)」に所属されており、その後立川談志

師匠に師事し、談志一門を離れて現在に至っているとのことです。バイオリンを演奏しながらの擬音や声マネは絶妙でした。タップダンスをしながらの大正演歌、なぞかけを楽しませていただきました。



司会の花澤隆幹事



挨拶する旭正勝会長



タップダンスとバイオリン



乾杯の音頭をとる中井盛久さん



南京玉すだれ



閉会の挨拶をする國澤俊一幹事長

最後に南京玉すだれをご披露いただき、40分間の楽しい一時が幕となりました。

休憩の後、お待ちかねの懇親会が始まります。

最初に3名の新入会員の紹介です。徳住あつしさん(S57法)、丹羽秀男さん(S53法)、阪本英樹さん(S62文)の3名が紹介され、自己紹介がありました。なお丹羽さんは再入会で、世田谷稲門会設立時に活動いただいたそうです。

まずは乾杯の音頭を大先輩の中井盛久さん(S34政経)にお願いいたしました。

その後、銀座ライオンらしいコース料理に舌鼓を打ち、ライオン得意のビールやワインの飲み放題、日本酒3本(久保田紅寿、八海山、蓬萊)を持ち込みし、お店からの差入れ1本の合計4本で盛り上げました。



参加者の皆さん

閉会の挨拶は國澤俊一幹事長にお願いし、全員で校歌斉唱とエール交換をしてお開きとなりました。

(複並 俊一／報告、写真撮影)

## 新入会員紹介 (2023年入会)



### 太刀川 令爾(たちかわ れいじ) (1984(昭59)政経)

世田谷生まれ、世田谷育ちですが、このたび縁あって入会致しました。卒業後は食品メーカーに勤めておりました。趣味は映画・芸術・芸能鑑賞、旅行・街歩きです。  
皆さまとの新たな出会いを楽しみにしております。どうぞ宜しくお願い致します。

### 佐々木 誠(ささき まこと) (1992(平04)教育)

玉川会所属の佐々木誠(ささきまこと)と申します。世田谷稲門会入会後は、歴史同好会にて、これまで知らなかった歴史に触れることで毎月ワクワクする活動を楽しんでいます。プライベートにおいても、これまで何気なく歩いていた街並みや景色を文献を辿りながら自ら調べたり想像することで、これまで全く見えていなかった世界が広がってくるように感じています。最近、自然と緑豊かな世田谷区の魅力を再発見しているところです。



### 藤方 聡美(ふじかた さとみ) (1991(平03)社会学)

昨年秋の稲門祭で、旭会長から頂いたパンフレットがきっかけで、ご縁が出来ました。乗馬、海釣り、語学、神社仏閣めぐり、宝塚歌劇、読書と多趣味ですが、いずれも「広く浅く」になっています。昨年は初めて熊野古道を歩き、温泉も含めて南紀に魅了されました。茅ヶ崎で育ち、箱根駅伝の中継でふるさとを実感します。  
まだ、現役で、時間の制約もありますが、皆さま方との出会いを楽しみにしています。

### 播磨 崇(はりま たかし) (1968(昭43)理工)

この度世田谷稲門会に入会致しました播磨 崇と申します。  
実は昨年の稲門祭に本当に久しぶりに参加した時に、世田谷稲門会の方にお声がけ頂き入会させて頂きました。私は理工工学部に東京オリンピックの年に入学し1968年に卒業し富士通を退職した後、現在も中小企業を支援するふたつの団体で活動しています。趣味はゴルフと旅行です。  
どうぞ皆様、宜しくお願い申し上げます。



### 阪本 英樹(さかもと ひでき) (1987(昭62)文)

去る10月23日(日)、卒業後35年ぶりに電動車いすでホームカミング記念式典に出席し、念願の世田谷稲門会にも入会でき、感激もひとしおでした。  
新参者ですが、何卒ご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 丹羽 秀男(にわ ひでお) (1978(昭53)法)

1993年当時、元土倉会長の下、世田谷稲門会発足に携わっておりました。  
2008年に、株式会社長谷工コーポレーションを早期退職し、外国人のビザ取得を専門にした行政書士事務所を渋谷に開いております。今回は再入会となりますが、世田谷稲門会の素晴らしい盛会ぶりに驚いております。大学時代はグリークラブに所属しておりました。  
まだ現役で仕事をしていることもあり、青年部会にも入会し、若い世代とのパイプ役を担えればと思っております。よろしくお願ひします。



### 尾崎 周(おざき しゅう) (1979(昭54)政経)

昨年12月に入会させていただきました尾崎 周(しゅう)です。10歳で祖師谷に越して来て以来南鳥山、粕谷と千歳村の住人をしています。早稲田も学院から7年間お世話になっていますが仕事は会社を4つ渡り歩きました。まずは歴史同好会でお世話になっていますが、他にも興味のある部会や催しもあるようで楽しみにしております。地域交流の礎になればと願っております。

### 石谷 啓造(いしたに けいぞう) (1984(昭59)法)

この度世田谷稲門会に入会致しました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。現在、定年後雇用延長にて外資系生保会社に勤務しておりますが、今後はWork-life balanceをより後者に重きを置く生活にシフトして参りたいと考えております。趣味は、旅行(クルーズトレイン3種全て制覇致しました)、模型製作、音楽・映画鑑賞等です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



### 日野 俊郎(ひの としろう) (1972(昭47)法)

時が経つのは早いもので世田谷区内に在住して65年、そして大学を卒業してから半世紀が過ぎ去りました。気が付けば、私は今年「後期高齢者」となってしまいます。ということで、どこまで校友会活動に参加できるかわかりませんが宜しくお願い申し上げます。

## ブロック会だより

### キャロット

令和4年12月3日(土)12時より14時まで銀座アスター三軒茶屋賓館においてキャロット会の忘年会を開催しました。

青木明彦、井口昭・亜由子、宗慎治、富塚兆彌、中井盛久、萩原健、星野裕、本庄忍、森山健太(五十音順、敬称略)の10名が参加しました。

一人ずつ近況報告を行う中、中井盛久さん(昭34政経)から座右の銘「在素知贅(ザイソチヱイ)」の紹介がありました。中井さんが政治記者を勤めていた頃、時の首相であった大平正芳氏から頂いた言葉ということです。生活は質素に、思想は高く、という心持ちで来年を過ごしたいと考えました。

(森山 健太/記)



### けやき

2022年忘年懇親会開催

2022年12月3日(土)18時から、けやき会の忘年懇親会を開きました。本格的に食事をしながらの懇親会は3年ぶりになります。会場は前回秋季懇親会を開催した同じ場所、小田急線経堂駅から徒歩3分ほどの「カフェ&ダイニング素々(もともと)」でした。

参加人数は会員20名で、昭和29年卒の佐藤喜重さんから、平成28年卒の新入会員の上田秀磨さんまで、世代を超えた賑やかな忘年会となりました。世田谷稲門会からはブロック会担当幹事の谷口幸四郎さんにもご参加頂きました。

食事の出方が遅かったこともあり、最後は少しバタバタしましたが20時半には校歌斉唱と集合写真撮影で無事に会を締めくくりました。

(井上 文/記)



### 玉川

玉川会の新年会が2023年1月14日(土)正午より田園調布倶楽部にて開催されました。参加者は29名でした。定刻には全員が集まり、世話人の谷口幸四郎氏の司会進行で始まりました。

まず、各テーブルに座っている世話人6人の紹介があり、代表の牧哲郎氏より開会の挨拶がありました。

乾杯のご発声は玉川会の長老である江口工氏よりいただき、会食開始となりました。会食中に戸田事務局長のご挨拶、新入会員の紹介、ゴルフ会、グルメ会、カラオケ会、イベント会などの報告がありました。さらに玉川会事務局長が新藤雅章に交代する旨の報告がありました。

福引が実施され、2022年の稲門祭の賞品を原資にしてかなり盛り上がりました。

クライマックスでは、山本世話人のピアノ、河津世話人の歌唱リードで「早稲田の栄光」を皆で合唱、お開きとなりました。おみやげは井澤美知恵様からご寄贈いただいたポーチを全員に配ることができました。今回、会場の対応が難しく参加を断念された車椅子の新入会員、阪本英樹氏(昭62文)がZoomで参加していただいたことは、初めての試みであり特記すべき事項だと思います。

(新藤 雅章/記)



### 西北

令和5年1月6日(金)17時から、有志14名の会員(新年会からの参加含み)が地元の北澤八幡神社に集結し令和になって初めての初詣を行った。

その後、下北沢南口「つ串亭」で新年会を開催した。まず桃井より日頃の協力への感謝と一日も早く日常に戻り活動を広げたいとして乾杯の発声。一気に宴会モード。箱根駅伝では予選会から勝ち上がった母校の健闘、ロシアの侵略、年令を超えた学生時代の話や世間の四方山話など話題は豊富。頃合いをみて新たに参加された丹羽さん、藤方さんの自己紹介及び質疑応答。

共通していたのは皆さんとの交流を通じて大いに楽しみたいということであった。

最後に柏さんから一言挨拶。この和気藹々の会をいつまでもとの思いを持ちながら再会を約して散会とした。

(桃井 清治/記)



## 特別部会だより

### 青年

青年部会は、2022年8月30日の例会に続き、11月30日(水)に2022年の第2回目の例会を日本製鉄代々木倶楽部内のレストランにて開催しました。当日は初参加者2名を含む17名の会員が出席し、当稲門会の旭会長、戸田事務局長及び山田幹事の3名の役員の方にもご参加頂き、リラックスした雰囲気のもと食事をしながら交流しました。

旭会長のご挨拶、初参加者の自己紹介、既存会員の紹介・近況報告等も交えながら、楽しい懇談は続き、あっという間にレストランの閉店時間になってしまいました。

(中島 史郎/記)



### レディースクラブ

2022年度も、女性の視点を活かした会員に役立つ講演会などの開催を検討してきましたが、コロナ感染症の拡大で見送らざるを得ませんでした。一方、恒例のバザーは、30周年記念祝賀会に併せて実現し、皆様に沢山お買い上げいただき、売上金はすべて地域サポート活動部会へ渡しました。あらためてお礼申し上げます。

2023年度は、コロナが収まることを願いながら、楽しい企画を考えていきたいと思えます。

(井上 文/記)

### 地域サポート活動

今年度、地域サポート活動部会には、ブロック会・部会等の集まりでの募金、個人からのご寄付、創立三十周年記念式典のバザー売り上げ79,120円、先日のお新春懇親会で33,500円と、多くのご寄付を頂きました。どうも有難うございました。

これで今年度のお預かりしたお金の累計額は373,681円で、この中から20万円をキッズファミ財団・世田谷区児童養護施設退所者等奨学基金など、生きづらさを抱える子供たちの為の寄付と致します。

今後ともご支援宜しくお願い申し上げます。

(林 馨/記)

## 趣味の部会だより

### ゴルフ

第113回世田谷稲門会ゴルフコンペ開催

2022年11月29日(火)、桜ヶ丘カントリークラブに於いて今年最後となる第113回コンペが開催されました。朝から雨模様の中で30名(8組)が参加しました。幸いにも雨はほとんど降られず、無事に終了することができました。

総合優勝は桃井清治さんで46:45=91、HDC16、NET75でした。準優勝は旭正勝さん、3位は小林宏さん、グランドシニア優勝は松浦晋三郎さん、シニア優勝は安達弘高さんでした。レディースベストは竹入啓子さんでした。(女性の参加は1名でした)

ベストは押見正雄さん(43:41=84)でした。

今回は新入会員4名(小野浩平さん、河上保さん、竹内英之さん、徳住あつしさん)が参加され、ゴルフ部会の若返りが期待されます。しかし、女性の参加が少なく、来年以降の女性会員の拡充と定着が課題となりそうです。(榎並 俊一/記)



左から安達、桃井、松浦、竹入

### 釣り

今年の釣り部の新年会はレインボーブリッジが見下ろせる中村会員の田町の別荘で1月12日開催しました。参加者は新会員の藤方さんを含めて6名。お酒、料理が一段落したあと自慢の釣り場や釣果を収めたUSBを持参して紹介しあいました。

また、アジ、太刀魚釣りから難しいヒラメ釣りまで釣り場や仕掛けから魚の合わせ方まで予定時間を大幅に超過しながら専門的な情報交換を行いました。最後に会員が持参した太刀魚の美味しい「うしお汁」で打ち上げました。会報が発行されるまでには真鯛、アジ、タチウオなどそれぞれが釣行しています。釣行ご希望の方は一報ください。素人の方歓迎です。

(寺島 邦夫/記)



## ウォーキング

「新宿山ノ手七福神巡りから母校へそして新年会」

令和5年1月8日(日)午後1時にJR新宿駅東南口に有志11名の会員が集合(新年会からの参加含み)。天候は肌寒いが風もなく快晴の絶好のウォーキング日和。

今回は当日世話人の横山徹さんの案内で、先ずは豊かな暮らしと円満な家庭を守る布袋尊(太宗寺)をお参り、次いで商売繁盛、開運の神・恵比寿神(稲荷鬼王神社)、長寿の神・福祿寿(永福寺)、唯一の女神で金運、縁結びの弁財天(厳島神社・抜弁天)、そして不老不死の長寿の神・寿老人(法善寺)にお参りをした。(時間の都合上、大黒天(経王寺)、毘沙門天(善国寺)は割愛)その後、夏日坂通りを歩き母校早稲田大学に到着。しばし休憩、記念写真を撮り新年会場・高田馬場前BIGBOXへ向かった。

新年会では江原利次前代表の乾杯の発声で一気に宴会モード。本日のウォーキングの感想、反省或いは世間の四方山話のあと、今年度の月別世話人の選任も皆さん積極的に手を上げられスムーズに決定。ついで各自のユニークな自己紹介、近況報告もあり、あっという間に所定の時間となった、本年も健康維持し、楽しいウォーキングを約束して散会とした。

(桃井 清治/記)



## 写真

写真部会は誌上では報告しませんでしたでしたが、コロナ禍の中でも怯むことなくほぼ毎月一度会合を持ち各人がプリントした写真を披露しました。

カメラで撮った写真をプリントして一人でもがめて自己満足で終わることなく皆に見てもらい率直な感想やアドバイスをもらうことは楽しいものです。

昨年11月12日30周年記念祝賀会会場にて部員の写真展示を行うことが出来、会場出席者から多くの好評の言葉を頂くことが出来ました。

なお、今後の例会予定は3月23日(木)、4月27日(木)、5月25日(木)、6月22日(木)、7月27日(木)です。「東京農大校友会館2階10時~13時30分」皆さま気楽にご見学にきてください。

(石橋 暉彦/記)



## 麻雀

コロナ禍による長い自粛期間が続いた後、月例大会を再開したのが令和3年11月で、なんとこれが令和2年2月以来1年9カ月ぶりというのだから、コロナや恐るべしである。再開を果たしてからは毎月大会を行っているが、卓数は5卓(20名)前後でやはり以前より少なくなっている傾向は否めない。

以下直近4か月の月例大会の結果をご報告します。

令和4年11月13日(日)参加者:20名、会場:用賀「鈴家」以下同じ

優勝:橋本大道、準優勝:吉村善智、3位:岡田俊博

令和4年12月11日(日)参加者:16名

優勝:橋本大道、準優勝:桃井清治、3位:林馨

令和5年1月14日(土)参加者:20名

優勝:田島功統、準優勝:河村卓郎、3位:矢野貞行

令和5年2月12日(日)参加者28名

優勝:釣康晴、準優勝:河村卓郎、3位:佐藤好司

2月の大会は7卓28名での開催となり、コロナ禍後では最多の人数となりました。今年度3名の新規加入者があり、大会にも参加いただいております、嬉しいことです。コロナによる休会者の復活、さらなる新規加入者の増大が望まれます。

(飯田 保則/記)

### 俳句

令和4年10月の句会は兼題「鉄瓶」、11月の句会は兼題「酉の市」、12月の句会は兼題「古暦」、令和5年1月の句会は兼題「初景色」でした。10月から令和5年1月まではメールによる通信句会で兼題句1句と当期雑詠2句をメールと葉書で持ち寄りました。

高得点句を掲載します。第193回(令和5年1月)から阪本英樹(俳号:英仙)さんが参加されました。(富塚 兆彌/記)

くれなるの星屑こぼす萩の風	まもる(松尾 守)	海近き田より刈りゆく日和かな	まさる(田中 勝)
願い事さらさらなくて熊手買う	恵 那(榎並俊一)	初時雨樹下に丸まる奈良の鹿	牧 羊(津島晃一)
来し方に秘すべきことも古暦	広 (矢後勝洋)	枯木立露わになりし奥の院	利 水(江原利次)
山茶花の落花の径を歩み行く	兆 弥(富塚兆彌)	十三で嫁ぎし祖母や木の実独楽	雪 子(家井雪子)
新春も一句浮かばぬ夜更けかな	英 仙(阪本英樹)		

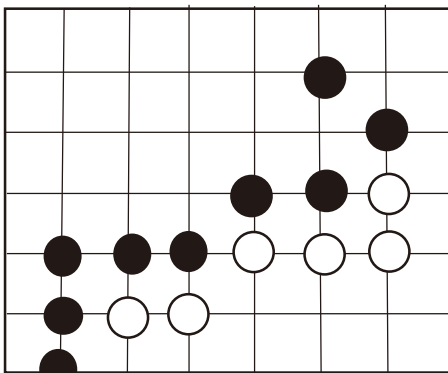
### 囲碁・将棋

#### (囲碁部)

長きにわたるコロナ禍も(実際はともかく)世の中なんとなく収束ムードになりつつあります。そんな中で世田谷稲門会囲碁部としては4月以降本格的に活動を再開したいと考えています。日程決まり次第、事務局宛にもお知らせします。

(池松 正之/記)

#### 詰碁問題



黒先白死；つい先日、私の実戦で現れた隅の基本形。下がり有利にいます。対局相手である某六段は知らなかったので大石が頓死しました。(池松)

#### (将棋部)

将棋部では原則毎月第三土曜日に例会を開いて腕を競い合っています。参加者は準部員を含め8名ほどです。レベルはと言うと、上級者(アマ3~5段程度)3名、中級者(アマ2級程度)4名、初級者1名、と言った所です。初級者と中級者の差が意外に大きく、初級者が対等に戦える相手がいないのが悩みです。「我こそは将棋初級者・初心者」という会員の方は将棋部に参加して頂けないでしょうか。

最近では1月21日(土)に例会を開催し、飯田さん・中村さん・小池さん・近藤さん・武井さん・林の6名参加で熱戦を繰り広げ、全部で6局の対戦を行いました。終了後、例会には出られなかった田波さんも合流して新年会を開催しました。

(林 馨/記)

#### 詰将棋に挑戦!

ヒント:2四金や1四金は何れも1二玉で詰まない。つり出す手順を考える。

(精選詰将棋200題 故原田九段著 梧桐書院 より)

5	4	3	2	1	
			将	皇	一
		卒			二
				王	三
		歩			四
			飛	歩	五
					六
					七
					八

持駒 飛、金

### スポーツ観戦

有力新人選手の紹介です。

まず、野球部のアスリート選抜入学者です。

岡西佑弥内野手(智弁和歌山)、宮城誇南投手(浦和学院)、越井颯一郎投手(木更津総合)、森山陽一朗投手(広陵)

3人の投手はいずれも昨春のセンバツのマウンドを経験するなど実績十分。2月上旬からの西東京の安部球場で練習に合流している。ゆくゆくは大黒柱になることを期待したい。



2017年の神宮

ラグビー部では、松沼寛治(東海大仰星・FL)、新井瑛太(大阪桐蔭・FL)、森田倫太郎(報徳学園・CTB)等が入学する。FWの人材不足は今に始まったことではないが優秀なフロント5(1~5)がほしい。スカウティングに問題があるのかもしれない。

(小林昭一郎/記)

## 映画

### 【稲映会】忘年会開催

2022年12月12日(月)、11時半から新宿にある東京住友クラブにて忘年会を開催しました。14名の会員が参加し、2022年を締めくくって懇親を深めました。(詳細はHP参照)

2023年1月1日、情報誌「Screen Shot」(第1号)を発刊。(隔月発刊)

2023年1月31日(火)、正午より、日比谷のシーボニアメンズクラブにて15名が参加して開催されました。コース料理とワインを飲みながら楽しく会話をして2時間でお開きとなりました。

2月13日(月)の世田谷稲門会幹事会にて同好会から部会への昇格が承認されました。

2月16日(木)、11時から東京住友クラブにて名作映画上映会が開催されました。「ペコロスの母に会いに行く」を上映しました。参加者は14名でした。

3月1日(水)、情報誌「Screen Shot」(第2号)を発刊。(隔月発刊)

3月18日(土)、11時から東京住友クラブにて名作映画上映会が開催されました。(詳細はHP参照)

稲映会は現在43名の会員が在籍し、1回/月のペースで懇親会、名作上映鑑賞会、新作映画感想会などを実施しております。映画がお好きな方は是非ご入会ください。

(榎並 俊一/記)



## 同好会

### 歴史

歴史同好会は原則第2土曜日にキャロット3階で例会を行っていますが、11月は30日、鎌倉の覚園寺を訪ねました。こちらの薬師堂は北条義時が建立し、運慶製作の薬師三尊像と薬師十二神将が安置されています。鎌倉宮にて護良親王が無念の死を迎えた土牢獄跡を見学、昼には鎌倉駅前懇親会を開催し、充実した1日となりました。

12月は「世田谷の土地利用史」(世田谷代田編)、1月は「出雲とたたら製鉄」、2月「源氏の名門 足利一族の選択」、3月はまた花見を兼ねた歴史散策、4月以降もテーマと担当を決めて予定しています。聴講だけでも歓迎です。ご希望の方は林までご連絡ください。

(林 馨/記)



### SS会

第1回合宿:2023年1月17日(火)~19日(木)、参加者:林 馨、津島晃一、榎並俊一  
 去年はコロナ禍で合宿が中止となり、今回が初めての合宿でした。残念ながら3名の参加でしたが、長野の戸隠高原スキー場で開催しました。スキー場の休憩所ではなんと定員の2/3が欧米人のスキー客で、外国のスキー場に来ているかの錯覚にとられました。雪質も良くゲレンデも整備されており、気持ちよく滑ることができました。



奥志賀高原スキー場



戸隠高原スキー場

第2回合宿:2023年2月7日(火)~10日(金)、参加者:旭正勝、鷺巣俊子、相川敏江(ゲスト)、榎並俊一

2回目の合宿は奥志賀高原スキー場で開催されました。残念ながら快晴とは行きませんが、3日目までは気持ちよく滑りました。最終日は吹雪となり滑走中止とし、早目に帰京しました。

(榎並 俊一/記)



### 温泉・小旅行

「温泉・小旅行同好会」の2022年3回目の活動は初めての“小旅行”となり、“銚子電鉄に乗る会”と銘打って12月4日(日)に千葉県銚子市へ行きました。

東京駅地下ホームから特急「しおさい3号」を利用し銚子駅へ。銚子駅で銚子電鉄に乗り換えて約20分で「犬吠駅」到着。ここで昼食を済ませ、徒歩で犬吠埼灯台へ向かい自由行動。今回は他の稲門会の方2名のゲスト参加がありましたが、つてがあって事前に現地の「銚子稲門会」の方と連絡が取れて、昼食時に交流会を催す事が出来ました。会場は「犬吠埼ホテル」の中のレストランで、新鮮な魚介類が満載の海鮮定食を食べながら交流しました。

今回の目的は「銚子電鉄に乗る」こと。犬吠駅前では銚子稲門会の方も一緒に記念写真を撮りました。またかつて京王線を走っていた車両にも乗車出来ました。

「旅行先で現地の稲門会と交流する」という新しい試みは良かったと思います。

(齋藤 正憲/記)



### 名簿発行延期について

2023年4月に発行を予定していた会員名簿の発行については、諸般の事情により7月以降に延期とさせていただきます。個人情報保護の観点から再検討します。

名簿発行に際し、住所、電話番号など不掲載をご希望の方は事務局までご一報ください。

事務局長 戸田 昇

### 校友会年会費納入のお願い

皆様のご協力により、世田谷稲門会は早稲田大学校友会年会費納入者数が多く、補助金も多く支給されています。

ほとんどの方が毎年納入いただいていると思いますが、失念して未納の方は納入をよろしくお願いたします。

世田谷稲門会事務局：戸田 昇

## 世田谷ぶらさんぽ

### 第13回

# ボロ市通り



2015年のボロ市



2019年のボロ市



くす玉開き

今回は「世田谷ボロ市」で有名なボロ市通りをご紹介します。三軒茶屋から下高井戸まで運行している東急世田谷線(通称玉電)の世田谷駅と上町駅の間にある長さは500~600mの通りです。

世田谷駅で降りて徒歩数分で「ボロ市通り」の始点に到着します。ボロ市が開催されていないときは何の変哲もない道路です。中間地点に代官屋敷があるのが特徴ですが、端から端までゆっくり歩いて10分程度で通過してしまいます。これが毎年1月15、16日と12月15、16日に開催される「ボロ市」の間中は人でごった返し、通り抜けるのに1時間以上を要することもあります。

世田谷「ボロ市」は1578年に小田原城主北条氏政がこの地に楽座を開いたのが始まりと言われており、世田谷を代表する行事として400年以上の歴史があります。当初は古着や古道具を物々交換していたことから「ボロ市」と言われるようになりました。現在では代官屋敷を中心としたボロ市通りに期間中は700店以上の露店が並びます。

代官屋敷は彦根藩世田谷領の代官を世襲した大場家の私邸かつ役宅で、現在の東京都世田谷区世田谷1丁目に置かれました。1952年に東京都指定史跡に、1978年に大場家住宅主屋及び表門の二棟が重要文化財に指定されました。表門はボロ市の開かれる通称ボロ市通りに面しており、主屋は約70坪で茅葺、寄棟造りです。



代官屋敷

筆者は1952年に世田谷に引っ越してきましたが、「ボロ市」には小学生時代に親に連れてきてもらい「飛行帽」を買ってもらった記憶があります。半世紀以上も前のことです。

(榎並 俊一/記)

### 【アクセス】

東急世田谷線、世田谷駅または上町駅から徒歩3分、

東急バス22、23、24系統、小田急バス26系統 世田谷駅前または上町で下車徒歩0分



代官行列

# 会員の広場

## ホモ・サピエンスの

### 起源と世界拡散

林 馨 (昭45理工)

者の食べ残し、それがそんなに有ったのだろうか？と疑問に思えてしまいます。とは言え、彼らが危険を冒してでも二足歩行をしてくれたおかげで現在の我々があるのですから。

「人類」とは、二足(直立)歩行をする霊長類という事で、古い順に猿人・原人・旧人・新人となります。一番初めの人類はというと研究が進むにつれ古くなり、今では約700万年前に存在したサヘラントロプス・チャデンシスという猿人ということ。彼らは密林からサバンナに出て二足歩行したわけですが、木登りも上手く夜は肉食獣に襲われなように樹上で寝ていました。

ではなぜ二足歩行したのか？勿論手を使って道具や武器を操るといふメリットは大ですが、それはもつと進化してからの話。二足歩行には、捕食者に見つけられやすい、短距離を走るのが遅い、などデメリットも大きいのです。現在言われているのは「オスが手に食料を持って巣に運びメスや子供たちに与えていた」という事ですが食料とは捕食

青い目の美男美女だったという説もあります。サピエンスとネアンデルタールは種族的な戦いはなく、混血もしていた。人類は原則一夫一妻制なので新人と旧人の夫婦も存在して居た筈に。もかかわらず約4万年ほど前までにネアンデルタールは絶滅し、地球上の人類としてはサピエンスだけが生き残りました。サピエンスは火を使い、石の精巧な道具や武器を作り、集団で狩りをし、地球上に敵はいなくなつたのです。

アフリカで生まれたサピエンスがなぜ地球上至る所に拡散していったのか？これも私には良く解りません。「飢えや寒さによってやむを得ず」ではなく、積極的に新天地を目指していったのです。「ホモ・モピリタス」(移動するヒト)と言う言葉もあるくらい人類は未知の地に進みたい何かを持つていたのでしょう。

そして数十万年前にヨーロッパで旧人ネアンデルタール人が、約20万年前にアフリカで我々新人ホモ・サピエンスが誕生しました。この二種類の人類は約4万年ほど前までは地球上に共存し、驚くべきことに混血までしてました。現代の我々黄色人系と白人系は1/4ほどネアンデルタールの血が入っているという事です。ネアンデルタールと言うと未開人のイメージがありますが、実は白い肌と



使つてのイースター島とハワイ諸島、それが紀元10000年頃という事です。さて、人類は大体10万年から100万年ごとに新種が発生しています。サピエンスが発生してから20万年。そろそろ新種が発生してもおかしくはないでしょう。もしかしたら何処かで既に生まれているのかもしれないですね。

### 加山雄三と共演した話

鷺巣 俊子(昭44文)



入学して間もない頃だった。いつものようにミッチャンと

一緒に教室に座っていると、サノくんが入ってきた。彼はあまり授業に出てこない人なので「めずらしいね」と言ったら、「うん、このところ敗残兵になって毎日『おかあさんーん！』とか言いながら死んでるよ」と言った。聞けば、シナリオ研究会に入っていて、アルバイトに映画のエキストラをやっているのだそう。『おもしろそう、やりたーい』と言ったら、登録事務所を教えてください。私もミッチャンは事務所に行き、年齢、身長・体重、スリーサイズを登録した。そうしたらさっそく翌日行くことになった。ロケ現場は靖国神社である。係が衣装を配っていて、エキストラの長い列ができていた。番がくると、係の人は一瞬私とミッチャンを見て「あんたたちは、そのままいいです」と言つて手に持った白い開襟シャツとモンペを後ろの人に渡して、日の丸の旗だけくれた。なんか納得できない気もしたが「ま、着替える手間が省けるからいいか」と思った。因みに私たちはいつものように普通(と当時思っていた)の白いブラウスと黒か紺かグ

レーのタイトスカートだった。なお、たまに会う吉永小百合さんもおんなじだった。

参道の両側に並んで日の丸の旗を振り続け、いいかげん手がぐたびれた頃、加山雄三扮する青年将校を先頭に兵隊の列がやってきた。すると私たち見送り人の壁を縫うように、一人のモンペ姿の若い女性が背伸びしながら駆け抜けていった。それを何度も繰り返した。

筋も何も知らないでやってしたが、出征する恋人を見送るといふシーンだったらしい。あとで「戦場にながれる歌」(松山善三監督)という映画だと知ったが見ていない。あまりに待ち時間が長くて疲れ、割に合わないと思ったので、エキストラのアルバイトはそれっきりでやめた。

その後、サノくんはシナリオ作家ではなくノンフィクション作家になった。『東電OJ殺人事件』など話題になった作品も多いので、ご存じの方もおられるだろう。その彼から3月初め頃、同級生にメールが回ってきた。

「後期高齢者になって第三次世界大戦間近の状況に遭遇するとは思いませんでした。」

N君やG君もそうですが、コロナもウクライナ問題も知らずに彼岸に渡っていった連中は幸せなのかもしれません。」とあった。

「巨怪」と言われた正力松太郎をはじめ、中内功、石原慎太郎などの大物に迫り続けたサノくんにしては弱気なことを言うなあと思っていたら、9月末、サノくんは連中の後を追って彼岸に渡った。

**山手線一周ウォーク**

榎並 俊一(昭46理工)



丁度一年前のこと、2022年3月26日(土)、午前7時30分、それは新宿駅南口から始まった。

遡る事3か月前、大学時代の同じ山のクラブ「歩行会」の同期のS野君から一通のメールが届いた。山手線一周に挑戦しないか、との内容だった。

半世紀前の大学時代にクラブの行事として山手線一周を夜通し歩いたことはあったが、70も半ばとなった今、完歩できるとは思わなかった。しかし、体は老いる一方なので挑戦するなら今しかないと思いいOKした。一緒に歩く仲間を募ったが、結局はS野君と二人だけの挑戦となった。

そして新宿駅南口に朝7時半に集合し、歩き始めた。方向は山手線内回りと同じ方向だ。ルールとしては山手線の内側には入らないこと。勿論電車やバスには乗らず歩きのみである。山手線は29駅で約40km、外側を歩くので約42km、フルマラソンとほぼ同じ距離である。42キロを時速4キロとして12時間くらいかなと想定していた。

まずは新宿駅を出発し代々木駅を通り過ぎて明治神宮に入る。この時間であれば門は開いているので、神宮内を歩ける。途中のトイレで朝の儀式を済ませ、原宿を通過し、渋谷駅のハチ公前を通過して、恵比寿、目黒、五反田と線路わきの道を歩く。大崎まで到達した。ここまでは快調だ。山手線の外側を歩く時、線路脇の道がないのが、大崎、品

川間と田端、駒込間の2か所だ。大きく迂回せざるを得ない。大崎からは目黒川に沿って京急線新馬場の駅前を経由して品川に向かう。高輪ゲートウェイ駅を臨みながら公園で小休止。田町・浜松町と歩き、浜離宮そばの店で昼食をとる。結構足の指が痛んでいる。マメが出来ているようだ。

昼食をとって元気が出た所で再開。新橋から銀座通りを歩いて日本橋、神田と進んでいく。神田駅の手前を右に折れて裏道を秋葉原に向かう。この辺りは現役時代働いていた場所なのでよく知っている。御徒町から上野駅前を通り抜け、鶯谷のラブホテル街の脇を歩く。日暮里から先の道が若干ややこしい。田端電車区があるため、山手線に沿った外側の道がないのだ。田端電車区に沿って大きく迂回し、古河庭園の脇を通って駒込駅に到着。ここからは線路わきに道路があるので山手線を見ながら歩くことができる。巣鴨、大塚と住宅地の間の小路を歩き池袋に向かう。この辺りは色々な線路が立て込んでおり、道が複雑だ。途中階段を登ったりスロープを降りたりして池袋駅に到着。空模様

が怪しくなってきた。

大塚あたりで小雨が降ってきて、目黒、高田馬場を過ぎたあたりで強い雨が降ってきた。ここまで来たならやめるわけにはいかない。濡れながらひたすら歩く。新大久保を過ぎて終点が見えてきた。まだ出発してから10時間を経過していない。何とか10時間を切れるかもと必死で歩く。出発点の新宿駅南口に到着したのは17時15分。42km、9時間45分(休み時間込み)、6万歩での完歩となった。平均時速は5キロを超えた。

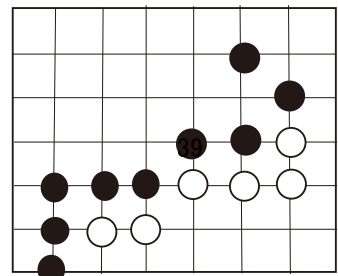
お疲れさまでした。勿論、新宿で打ち上げをした。足の裏はマメだらけ、もう二度と山手線一周はしないぞ！  
足に自信のある方は是非挑戦してみてください。



世田谷稲門会 会員異動状況 令和5年 2月28日現在(正会員 407名、準会員 32名)

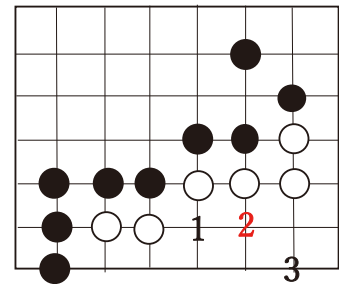
個人情報につき不掲載

詰碁問題



黒先白死：つい先日、私の実戦で現れた隅の基本形。下がり有利しています。対局相手である基本段は知らなかったのが大石が頓死【詰碁の答】

正解



正解：これで白は死にます。ご確認下さい。

大石 類型

編集後記

それは3月8日のこと。会報誌編集長のEさんから編集後記依頼のメールが来た！さあどうしよう！残業続きで定例の幹事会にも出ていないし、会報誌の編集会議もずっと欠席している。やっと再開した青年部会も都合が合わず、総会、納涼会、新年会にも行けず、世田谷稲門会で何もしていない私に何が書けるのか…。(書いていいのか)

ましてやこの半年、母の認知症の介護からはじまり、転倒からのくも膜下出血による救急搬送、入院、そして11月末に彼岸への旅立ち。そのあとは喪主として葬儀、七七忌を終えて、そろそろ相続のことを考えなきゃという矢先。銀行に行けるのか、ああ相続税はどうしよう、税理士、司法書士を探さなくちゃ。等々力の実家も誰もいないから郵便物のチェック、草木に水やり、ゴミ捨てにも帰ったほうが良いだろう。

広報・学報の委員長をしている早稲田学報の編集会議が3月14日。半年後の企画を考えるタイミングだ。こっちも企画出しをしなきゃ。時間がまったくないぞ。よく見ると編集後記の締め切りは3月15日だ！と！どうする確定申告…。舞い上がれるのか私。

(秋山 多美子/記)

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけでなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mailアドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650

e-mail; shinoshoko@gmail.com

【詰碁の答】 1 四飛 同玉 2 四金まで